

# 「家康公に尊敬の念」

静岡で徳川  
みらい学会 中村氏(民俗  
学者)が講演

徳川時代の歴史的意  
義を発信する「徳川み  
らい学会」(会長・芳  
賀徹県立美術館長)は  
9日、第4回講演会を  
めぐる民俗学者、中村羊

一郎さんが「庶民の中  
の家康公く伝説と史実  
のはざままで」と題して  
話した。約350人が  
聴講した。



家康に関する伝説について  
考察した中村さん＝静岡市  
清水区の清水文化会館マリ  
ナート

中村さんは徳川家と  
家康にまつわる各種の  
伝説、大御所時代の駿  
府の様子、家康と庶民  
の交わりなどを挙げ、  
庶民からみた家康像を  
論じた。

中村さんは徳川家と  
家康にまつわる各種の  
伝説、大御所時代の駿  
府の様子、家康と庶民  
の交わりなどを挙げ、  
庶民からみた家康像を  
論じた。

中村さんは大御所時  
代の駿府を「日本きつ  
てのエンターテインメ  
ント空間だった」とし、  
現代の静岡の活性化の  
ヒントをこの時代に探  
るよう提案した。

伝説を含む数々の逸話  
について、中村さんは  
「家康公の窮地を救っ  
た庶民に特権、姓など  
が与えられたという話  
が多い。事実と確認で  
きないものもあるが、  
庶民に語り継がれるこ  
とで、家康公への尊敬  
の念が増すことにつな  
がった」と分析した。

中村さんは大御所時  
代の駿府を「日本きつ  
てのエンターテインメ  
ント空間だった」とし、  
現代の静岡の活性化の  
ヒントをこの時代に探  
るよう提案した。

中村さんは大御所時  
代の駿府を「日本きつ  
てのエンターテインメ  
ント空間だった」とし、  
現代の静岡の活性化の  
ヒントをこの時代に探  
るよう提案した。